

# アンネのバラ



平和のバラといわれている「アンネのバラ」について写真と文書で紹介、また、アンネ・フランクの生涯も合わせて紹介

B2 : 16枚

第2次世界大戦中、ナチスドイツは、多くのユダヤ人を絶滅収容所に送り、そして虐殺しました。アンネ・フランクもその一人でした。3階の隠れ家に身を潜めて、そこで書かれた日記は、「アンネの日記」として、戦後、多くの人に読まれています。隠れ家を暴かれ、収容所に送られたアンネは、懸命に生きますが、解放を目の前になくなってしまいます。戦後、オランダの園芸家が新種のバラを作り、戦争を風化させないという思いで、そのバラを「アンネのバラ」と命名します。その株が日本に贈られ、人から人の手で増え続けています。